

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 (火)4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅳ (ChineseⅣ)		
対象年次 二年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2T 六	科目分類 外国語科目(中国語)		
担当教員: 劉 愛莉 /E メールアドレス:kym_ar@hotmail.com /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-887-3467 /オフィスアワー: 火曜日、水曜日 12:00~13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業 のねらい:	一年次で学んだ基礎内容を復習しながら、より多くの文法事項、実用的な会話文を学び、さらに一步上のレベルを目指す。言葉の学習を通じて、現代中国の事情を知り、中国文化にふれる。		
授 業 方 法:	発音練習、本文、文法の説明。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。		
授業到達目標:	既習文型、文法、表現を基礎に中国語の会話、応用能力を高め、中国語検定試験 4 級資格取得を目指す。		
<p>授業内容(概要)</p> <p>内容; 既習文法事項を復習し、応用する。さらに「結果補語、二重目的語、可能補語、兼語文、使役文、“把”構文・・・」などの文法事項を習う。語彙を増やし、日常生活のさまざまな場面に即した会話(趣味、お正月、インターネット、留学などについての話し)を勉強する。多くの練習問題にも取り組み、また中国の祝祭日や旧正月、有名な観光地などを紹介する。</p> <p>第 1 回 前期に習った中国語の復習など 第 2 回 第 6 課 「趣味」 第 3 回 結果補語 二重目的語 第 4 回 第 7 課 「読書」 第 5 回 可能補語 接続詞 第 6 回 復習③(第 6 課～第 7 課) 第 7 回 第 8 課 「お正月」 第 8 回 兼語文 使役文 比較文 第 9 回 第 9 課 「チャットする」 第 10 回 “把”構文 接続詞 第 11 回 第 10 課 「短期留学」 第 12 回 疑問詞(+名詞)+“都”/“也” 助動詞“得” 第 13 回 復習④(第 8 課～第 10 課) 第 14 回 閲読練習② 第 15 回 まとめ(試験を含む)</p>			
キーワード	会話 文法 練習問題 中国事情		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語 10 課 2 』 (白帝社) 辞 書: 中国語辞書(一年次で使ったもので可)		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、習った単語を覚え、宿題を完成すること。 教科書、筆記用具、辞書必携。		